

令和2年度第1回岡山県立博物館協議会議事概要(要旨)

日時 令和2年10月7日(水) 13:30~15:30
会場 岡山後楽園 鶴鳴館
出席者 委員：村木議長、岡本副議長、小田委員、福本委員、延江委員、美咲委員、中嶋委員、岡野委員、光本委員、伊勢崎委員、神辺委員、鳥井委員
博物館：高見館長、塩田副館長、横山総括参事、重根学芸員(主幹)、秋山学芸員(主幹)、野田学芸員(主任)、宇垣学芸員(主任)、西垣学芸員、岡崎学芸員、平井主幹
文化財課：小林課長
欠席者 清友委員、三田委員、名木田委員

1 開会

高見館長あいさつ

2 議題

- (1) 令和元年度事業について
 - ア 展覧会(自己評価シート)
 - イ 教育普及事業
 - ウ 入館状況
 - エ 来館者アンケート集計結果について
- (2) 第2次岡山県立博物館中期目標の達成状況について(令和元年度)
- (3) 県立博物館耐震改修工事等について
- (4) 第3次岡山県立博物館中期目標の策定について
- (5) その他

【委員からの質問(回答)・意見・提案】

議題(1) 令和元年度事業について

- ①「岡山の日蓮法華」の入館者が1万人を超え、目標値を大きく上回っている。⑦広報で「日蓮法華関係者に全面的に協力を仰ぐことができた」と記載してあるが、集客という意味でその効果が大きかったのか。(質問)
⇒日蓮関係者には多くの図録の購入等、協力をいただき、大勢の方に来ていただいた。その他の要因としては、期間中に天皇陛下即位の礼による無料開館があったのも大きかった。(回答)
- ②記念講演会で大勢の人が来て会場(講堂)が一杯になった場合に、別の場所でその様子を大型テレビに映して流すというようなことはできないのか。(質問)
⇒定員を超過した場合は2階のホールに集客し、音声を流すなどの対応を検討する。(回答)
- ③「物見遊山」の展示で新聞への掲載回数が他の展覧会よりも少ないが、原因は何か。(質問)
⇒特別展、交流展は山陽新聞社に新聞紙面への広告記事掲載の委託をしているが、企画展は委託していないので、その差が出たものと思われる。(回答)
- ④来館者アンケート集計結果で10代が少ないが、館内授業等で学校から来館した児童・生徒にもアンケートに協力してもらった方が良いのではないか。(意見)

議題(2) 第2次岡山県立博物館中期目標の達成状況について(令和元年度)

- ①今年はコロナの影響で出前授業などは難しい状況だが、昨年度まで受けてみて、盛りだくさんな内容になっていた。中期目標の結果は残念だが、是非、広めて欲しい。(意見)
- ②博物館を愛することは、郷土愛に繋がる一番大事なところなので、実際に実施して生徒も喜んでい実績を広めて増やして欲しい。一步踏み出して改善していくところは改善していただきたい。(提案)
- ③ICTの環境も進むと思うので、ZOOM等で双方向で対話ができるなど、博物館から生映像を配信して欲しい。再開館時にいいものを発信できれば変わってくると思う。(提案)
- ④休館中の博物館の取組は何か。(質問)
⇒休館中を活用してリニューアル後の展示に活かすための調査研究を行ったり、改修のために指定文化財等を県立美術館や県立記録資料館、長船刀剣博物館、京都の龍谷ミュージアムに移して、それぞれの館等でもその資料を活かした展示を行っている。今年初めての試みとしては、小中学生を対象にオンライン質問講座を行う。さらに、就実大学と協力し、資料の整理・研究・展示についての相互連携協議を行っている。
今後、コロナの影響で生活様式が変わる中で、博物館の在り方も変わってくると思うので、それに向けた対応方法についても検討している。(回答)

議題（３）県立博物館耐震改修工事等について

①支障のない範囲で工事の詳細な内容を文書化するなどして、改修のポイントを記録として示して欲しい。（提案）

議題（４）第３次岡山県立博物館中期目標の策定について

①「Ⅳ 広めよう岡山の伝統」の文面の中に『若い世代』と記してあるが、これはどの辺りの年代を想定しているのか。「Ⅱ 伝えよう岡山の文化」の文面の中に『児童から高齢者まで幅広い年齢層にわたり』とあり、これは『幅広く県民に』という意味ととれる。Ⅳの『若い世代』という世代を限定する表現はⅡとのバランスが良くないので不要だと思う。（意見）

②使命の項目が４つあるが、「Ⅱ 伝えよう岡山の文化」の中で、「Ⅲ 届けよう岡山の魅力」とか「Ⅳ 広めよう岡山の伝統」が含まれるように思う。目的というのは１つ２つで大きく括った方が分かり易いのではないかと思うので、検討して欲しい。（提案）

③情報発信のやり方については、メディアを使うとコストがかかるので限界がある。人が媒体になって、知識とかネットワークをコンテンツとして上手に SNS 等で発信して欲しい。（要望）

④大人でも岡山の事を知らない人が多い。社会人とか企業に対して「岡山の魅力」を発信することはニーズがあると思うので、子どもだけではなく大人に対してもターゲットとして照準をあわせることも検討して欲しい。（提案）

⑤無形文化財にあたる神楽などは今担い手不足で、残していくことが出来ない地域も数多くある。無くしたものをもう一度復活させるのは時間がかかる。無形文化財をどうやって残せばいいのか、調査研究のあたりや『伝えていく』というところで対象を少し広げて欲しい。（提案）

⑥博物館の魅力をどうやったら伝わるのかなと考えた時に、今はコロナのこともあるので、それを逆手にとって、今までのやり方ではないやり方で、今までのターゲットではない人に届けると、結構面白いことになるのではないかと思う。（意見）

⑦満足度の評価数値を示すのは難しいかもしれないが、例えばアンケート結果で満足したという数値を評価目標にするなど、評価の中に満足度というものを取り入れてはどうか。（提案）

議題（５）その他

意見等なし

3 閉 会